

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年 3月17日

計画の名称	茂原市における快適で魅力ある都市環境の形成			
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	千葉県茂原市	
計画の目標				

公共下水道共用区域の拡大及び機能維持に向けて、経済的かつ効率的整備を図り、ゆとりに潤いに満ちた環境にやさしい魅力ある街づくりを進める。

計画の成果目標 (定量的指標)

①下水道処理人口普及率を33.8% (H23) から34.2% (H27)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H23当初)	(H25末)	(H27末)	
	33.8%	33.9%	34.2%	
	33.8%	33.8%	34.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	341百万円 285百万円	A	214百万円 232百万円	B	0 0	C	127百万円 53百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	37.2% 18.6%
-------	------------	------------------	---	------------------	---	--------	---	-----------------	---------------------------	----------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成29年2月
公共下水道事業の社会資本整備総合交付金・事後評価実施要綱に基づき実施	公表の方法
	茂原市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1-1	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	-	新設	三貫野第2幹線枝線整備 (未普及解消)	φ200 L=1,100m	茂原市						206	
																224	
A1-1-2	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	-	新設	川中島第3幹線 (未普及解消)	舗装本復旧 S=1,150㎡	茂原市						8	
																8	
											計画	214					
											実績	232					
											小計						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
C-1-1	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	新設	三貫野第2幹線枝線整備	φ200 L=1200m	茂原市						120		
															46		
C-1-2	下水道	一般	茂原市	直接	茂原市	新設	汚水適正処理構想策定	行政面積9,992ha	茂原市						7		
															7		
											合計	127					
											53						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C-1-1	基幹事業である三貫野第2幹線に接続する枝線を一体的に整備することにより、普及率の増加を図る。																
C-1-2	基幹事業である三貫野第2幹線整備と一体的に実施することにより、汚水整備の促進を図る。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・東部台2丁目、3丁目の下水道整備を行った事により、公共下水道供用開始区域が8ha拡大し、地域の生活環境の改善、水質の保全に寄与した。

II 定量的指標の達成状況

指標①（下水道
人口普及率）

最終目標値

34.2%

目標値と実績値
に差が出た要因

公共下水道供用区域は拡大したが、整備済区域内の人口減少があったため、下水道人口普及率は伸び悩んだ。

最終実績値

34.0%

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

次期社会資本総合整備計画において、引き続き東部台地区の公共下水道整備を進める。